

2017-05 2017.09.19

2017年9月 議事録

5回目

平成 29 年 9 月 19 日 (火) 東児童館にて AM10:00~12:30

出席者：大竹 (社協) 会田 (社協) 長澤 (ふ) 山口 (ふ・防災) 神田 (東2会長) 谷澤 (東2自警団・五十塚) 笹澤 (ふ) 長澤 (支援員) 川崎 (稲3区) 半田 (ふ) 守谷 (民) 山田 (民) 鈴木 (民)

1. **社協 (社会福祉法人) より**：会田話

地域見守りネットワーク事業から発端を得た。きずなネットワークの役割が目指すところは個人の働きではなく地域のさまざまなメンバーがネットワークを組んで見つけ・見守り・困難の解決を導く。

真瀬地域はつくばで唯一社協が関わりつつ共助システムができつつある。(徘徊訓練・勉強会・会議)

荃崎は高齢化率が全般に高く50%を超える地区も4つある。状況が深刻なので区会ごとに組織化されている。ただし荃崎のすべての地域がまとまっているわけではない。

見守りネットワークシステムの受け入れ→民生委員との融合→**他組織との Net 化 (横のつながり)**：相互理解により互いの問題点の協力→**解決力の増幅**

事業費 (助成金) の供出ができる：最大 5 万円三年間まで

拠点づくりへの話し合いにも協力できる

2. **本日の議事内容**

1) 絆ネットワークの意義とメンバーは？

意義；地域の福祉を目的とする**各組織の連絡協議会**。メンバーは現状本日の参加者及び参加依頼者

2) 絆ネットワークの核は？

健やかな地域社会を作るための生活弱者の把握・見守り・お手伝い

3) 絆ネットワークの対象者は？

地域の福祉を目的とするので現状は高齢者 & 障がい者への見守りお手伝い。

子供の貧困などはその現象が確認できてから対応を検討

4) 情報公開は難しいが自治会ごとの名簿の必要性

現状、困難。年ごとに個人情報保護法への対応が厳しくなっている。必要に対する答えは模索。

5) 参加しやすい空気への提言

「～会議」などの大義名分のある会議では、個人差はあるがその場での発言力には力の差がでる。

参加自体が億劫になり出席したくなる。小グループでの井戸端会議レベルを繰り返し集約することで小さな意見も届くのでは？

6) 防災は 4~5 人のメンバーながら 12 月に企画している防災訓練に向けての活動中。

7) 町内会活動は毎年新しいメンバーへのバトンリレーなので次年度役員が感じる【困惑・敬遠・自治会の脱退】を避けるためにも特別な活動は避ける。ボランティアは個人として行う。

8) あいさつ運動は地域扶助のための第一歩。足を使い顔を見てお互いを知る努力をするべき。

9) 連絡協議会も助成金対象になるので申請してほしい。(社協)

10) 買い物難民への定期運行送迎活動；今後の検討対象

11) 自治会長への参加を願う (ゴミ当番や地域の清掃活動など意見を伺いたい場面がある)

次回開催日：定例会となったので第 3 火曜日 (10 月 17 日 AM10:00~児童館調理室)